人口の動き

人口総数	48,673	男	24,612
世帯数	10,046	女	24,061
転入	284	出生	73
転出	180	死亡	72
婚姻 50	離婚 3	死産	6

(昭和37年3月1日現在、住民登録による)

広報ふじ

静岡県富士市平垣279番地
発行所 富士市役所
発行人 富士市長 遠藤俊治
印刷所 加藤印刷所
No. 82
昭和37年4月1日発行

鉄筋コンクリート四階建というデラックスのモデル校舎がこのほど駅南地区の森島地先旧飛行場跡に完成しました。これは市立富士南中学校の新校舎で同校は昨年四月に新設され第二小学校の一部を間借して授業を行なつていたもの。

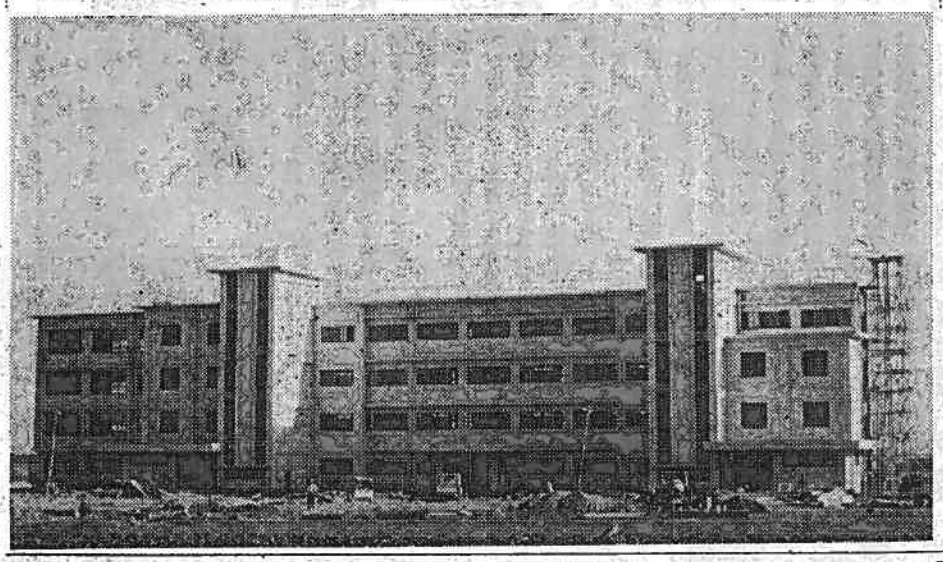
これで待望の新校舎へ移転四月五日から開校することになりました。この新校舎は昨年九月第一期工事として工費七千五百万円をもつて着手し、普通教室十六、特別教室四、管理

待望の南中学校完成

鉄筋四階建のモデル校舎

室などを完成特に視聴覚室、放送室など念入りにできており、また給食に備え食器を運ぶためのリフトまでが完備されています。引続き工費三千四百万円をもつて第二期工事に入り更に普通教室三つを設け全部で十八教室としこのほか特別教室六、準備室などを完成する予定。なお現在生徒数は二年生二六七名とこんど入学する新入生二八〇名の計五四七名となつた。

(写真は鉄筋四階の南中校舎)



昭和37年度市長施政方針

遠藤市長

去る三月八日招集された第一回富士市議会定例会は、会期十三日間をもつて昭和三十七年度一般会計および特別会計の当初予算その他五十五議案について慎重裡に審議した結果、三月二十日開かれました最終本会議でいずれも原案通り可決しました。

遠藤市長は、第一日目の本会議の席上で昭和三十七年度予算の大綱について約一時間にわたつて説明を行ないました。その大要は次の通りであります。

特に本年度は主要財源であります。電気ガス税の税率引下げとパルプ製造に対する非課税等で約四千万円が減収とみられ、加えて経済界の不振に伴い法人税等の減収も必至であり、市の財政事情は極めて悪条件の下にあります。

継続的重要事業を推進

一般会計……七億九千八百万円
特別会計……二億七千七百万円

総額十億七千五百万円

市の飛躍的発展に対処

しかしながら当市は、今や飛躍的発展途上にあつて各種重要事業が山積していますが、産業振興の基盤であります田子浦港をはじめ用排水事業や教育、土木厚生関係など各般の継続的重要事業はあくまでこれを積極的に推し進めていかねばなりません。かゝる状況下にあつていかにこれを調整するか、予算編成について最も苦心した所であります」と力説しています。

まづ本年度の一般会計当初予算は七億九千八百七十五万六千五百円を計上しましたが、これは昨年度の当初予算にくらべ約二億二百六万四千五百円の増額となり三三・八六%の増加率を示しています。従つて昭和三十七年度の当初予算額は各特別会計予算の二億七千六百八十七万三千七百円と一般会計を合わせますと、実に十億七千五百六十三万二百円という膨大な予算になります。

響く 電気ガス税率引下げ パルプ製造非課税の減収

市税収入は四億一千万円

先づ歳入の面からその概況をみますと、市税は法人税の減収、電気、ガス税の税率引下げとパルプ製造に対する非課税を考慮に入れ四億一千六百六十一万一千二百円を計上、更に税外収入として三億八千二百十四万五千三百円を計上し、これで当初予算の歳入総額は七億九千八百七十五万六千五百円になります。

このうち税外収入の一億九百十三万七千百円は国庫支出金、三千五百万円は市債となつておりこれはいずれも直接事業の執行に関連するものであります。

田子浦小を移築

更に道路新設・都市改造 不良住宅地区改良事業着工へ

つぎに歳出についてその概要を記入してみますと

▽議会費、市役所費…殆んど人件費の増加によるもので大体前年度と同様であります。

▽消防費…昨年十月一日より常設消防署を設け消防職員を増員整備しました。今後はなお一個消防態勢を強化し、災害の未然防止につとめることになりました。

▽土木費…前年にくらべ三百万円を増額し、総額四千七百万円を計上し特に道路の新設改良を重点事業の一つとして取上げ、また道路、橋梁の維持修繕費、用悪水路費等も緊急度によつて予算化しました。

▽都市計画費…主なものは、継続事業であります田子浦港整備事業のうち公共事業費の負担金二千百三十六万円を計上、また補助街路事業として富士鷹岡線の街路舗装に二千四百万円、前田宮下線および富士鷹岡線の街路築造費に四千二百万円が充てられています。

このほか本年度の重要事業の一つとしてこのほど正式に区画整理の区域の設定がきまりましたので都市改造事業として三千万円を計上し、区画整理に乗り出すことになりました。

▽教育費…総額一億八千六百八十九万六千六百円を本年度の当初予算として計上しました。

このうち主な建設事業は、学校建築費に一億三千四百八十万円を充て南中学校の新設費に三千四百万円、同校備品費に五百万円を予算化しすでに鉄筋コンクリート四階建というデラックスな新校舎（第一期工事）が完成しました。

また岩松中学校体育館建設費として、本年度は三百万円を計上し取りあえず敷地の買取を行なうことになつています。

更には国鉄新幹線の建設に伴い田子浦小学校が移転することにきまり、この移築費九千六百万円は特定財源であります国鉄補償金を財源として近く工事に取りかかります。

▽社会労働施設費…本年度の重点事業の一つとして不良住宅地区改良事業を取上げています。

この所要経費四千二百三十四万二千円が計上されています。

これは老朽はなはだしい中島市営住宅の改築を図るためのもので昨年度ようやく田子浦地区に敷地を買収しましたので本年度は国庫補助金二千五百八十三万四千円を確保し鉄筋コンクリートの近代的住宅五十四戸を完成することになりました。

なお毎年建設している市営住宅も本年度は第一種及び第二種をあわせ二十六戸を建設する予定で一千五百四十四万円を計上してあります。

▽保健衛生費…し尿処理場の建設は、昨年度をもつて一応完成をみましたので本年度は、その業務を開始する運びになりました。

また下水道問題については、すでに基本計画の調査を実施し、本年度は市内中心部約二百ヘクタールを実施する計画を進めています。

▽産業経済費…富士川用排水土地改良事業および農業生産基盤整備事業をはじめ土地改良、一般農業土木事業などを推進していくための諸経費として七千三百十九万五千円を計上しました。

また商工関係については、前年度に引続き岩本山公園の整備拡充のため本年度は三百四十一万円を計上し逐次公園として整えつつあります。

▽選挙費…本年度は、各種選挙の多い年で予定されているだけでも市長、市議会議員、参議院議員県知事等四つの選挙があります。

▽諸支出金…総額一億七百四十万五百円でこのうち各特別会計への繰出し金は二千三百万円となつています。

また広報施設として本年度は、市の広報、宣伝その他非常災害等に備え超短波無線を取入れ市内各所に拡声装置を設けることになりこの経費三百十万円を充てています。

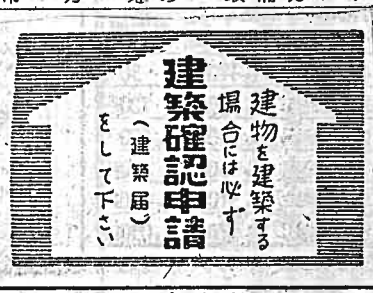
昭和37年度富士市歳入歳出予算総括表（一般会計）

歳入 款名	本年度予算額	前年度予算額	歳出 款名	本年度予算額	前年度予算額
(1) 市税	416,611,200	379,108,000	(1) 議会費	17,464,000	11,195,000
(2) 地方交付税	2,000,000	1,000,000	(2) 市役所費	82,591,300	67,090,000
(3) 公営企業及び財産収入	4,150,000	2,212,000	(3) 消防費	11,977,000	6,777,000
(4) 分担金及び負担金	1,216,000	752,000	(4) 土木費	47,000,000	44,000,000
(5) 使用料及び手数料	8,419,600	7,217,000	(5) 都市計画費	121,980,000	104,797,000
(6) 国庫支出金	109,197,100	80,959,000	(6) 教育費	186,896,600	100,776,000
(7) 県支出金	6,554,500	5,400,000	(7) 社会及び労働施設費	89,094,400	45,854,000
(8) 寄附金	2,666,000	1,141,000	(8) 保健衛生費	22,391,400	61,269,000
(9) 繰入金	68,900,000	—	(9) 産業経済費	79,195,000	68,167,000
(10) 繰越金	15,000,000	25,000,000	(10) 財産費	2,601,500	2,156,000
(11) 雑収入	129,728,100	97,509,000	(11) 統計調査費	162,000	158,000
(12) 市債	95,000,000	63,000,000	(12) 選挙費	9,488,800	665,000
			(13) 公債費	92,194,000	24,894,000
			(14) 諸支出金	107,400,500	48,454,000
			(15) 予備費	500,000	500,000
歳入合計	798,756,500	596,692,000	歳出合計	798,756,500	596,692,000

特別会計歳入歳出予算総括表

特別会計別	歳入(収入)	歳出(支出)
病院事業会計	153,901,000	159,490,000
水道事業会計	57,182,000	68,634,000
国保事業特別会計	42,325,000	42,325,000
公益質屋事業特別会計	3,846,000	3,846,000
と畜場事業特別会計	2,578,700	2,578,700
一般会計、特別会計総額		1,075,630,200

帳簿で申告
貯蓄で納税



◎毎週木曜日の午後5時20分から「富士市のたより」があります。……NHK第一放送にダイヤルを合わせましょう